

2025年3月期

決算説明会

2025年5月26日



目次

- 1. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 2. 2025年3月期 決算概要・・・・・・・・ P6
- 3. 2026年3月期 業績予想・・・・・・・・ P11
- 4. 2026年3月期 事業活動・・・・・・・・ P15
- 5. 中期経営計画の振返り・・・・・・・・ P21

会社概要

会 社 名	菊水化学工業株式会社
本 社	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄一丁目3番3号 AMMNATビル
創 業	1959年5月21日(昭和34年)
資 本 金	1,972,735,695円
従 業 員 数	442名(2025年3月末)

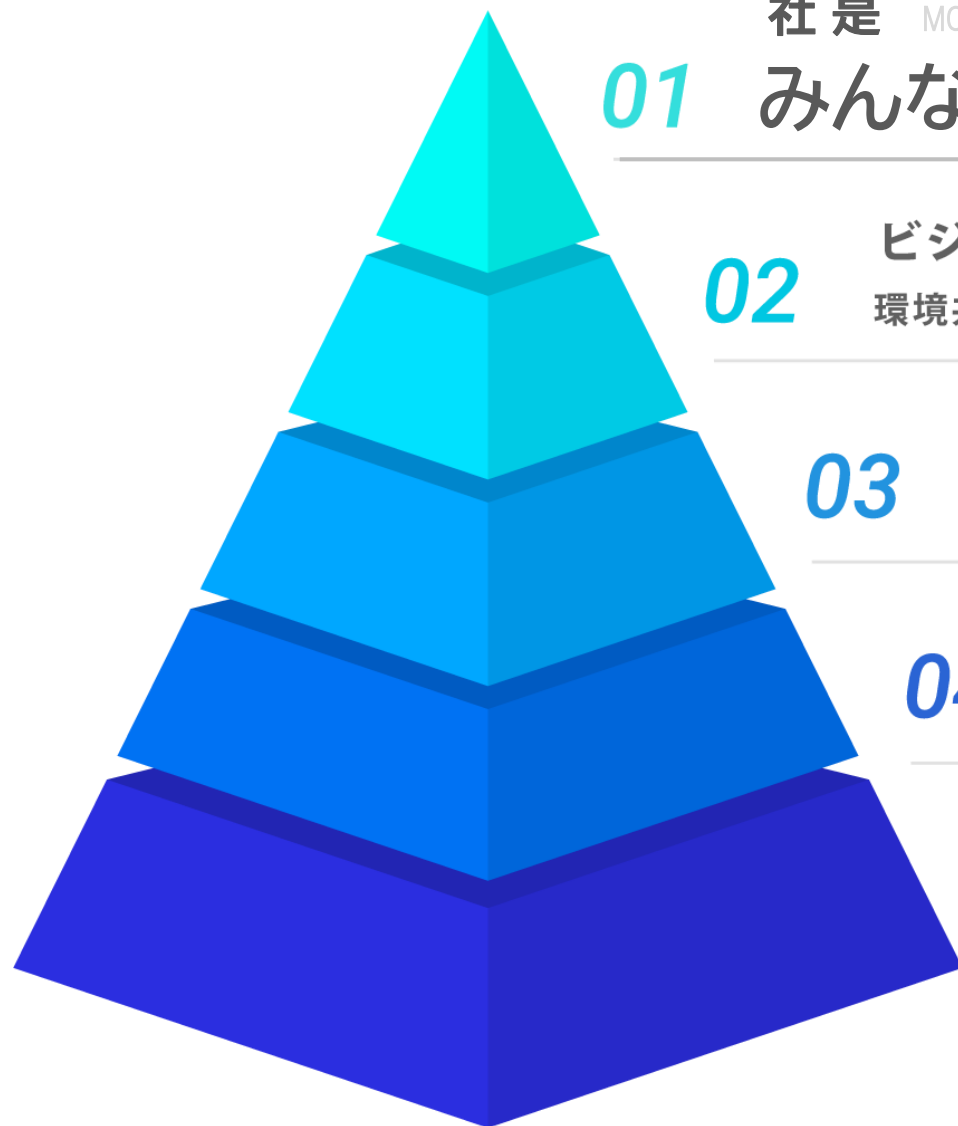
事 業 内 容	塗料および塗材の製造、加工ならび販売 土木用および建築用等の化学工業品の販売 土木材料および建築材料の製造、販売ならびに施工
---------	--

登 録 番 号	建築業登録番号国土交通省大臣認定 (般-2・特-2)第 11904 号
---------	--

事業拠点	生産本部（工場） [犬山、東海、各務原、福岡、茨城、滋賀] 建材塗料事業本部 [16営業拠点、海外部、技術部] 住宅事業本部[17営業拠点]
------	--

グループ会社	株式会社ツーアール 菊水香港有限公司 菊水建材科技(常熟)有限公司 台湾菊水股份有限公司
--------	---





社是 MOTTO

01 みんなのために よりよい商品 ゆたかな愛情

ビジョン VISION

02 環境共生時代にふさわしいものづくりで、持続可能な社会に貢献する

サステナビリティ方針 SUSTAINABILITY POLICY

03 「Repaint the future」未来に向けた私たちの思い

中期経営計画 PLAN

04 製品を通じた街づくり／安心して働ける環境づくり／ガバナンスの強化と充実

行動基準 REFERENCE

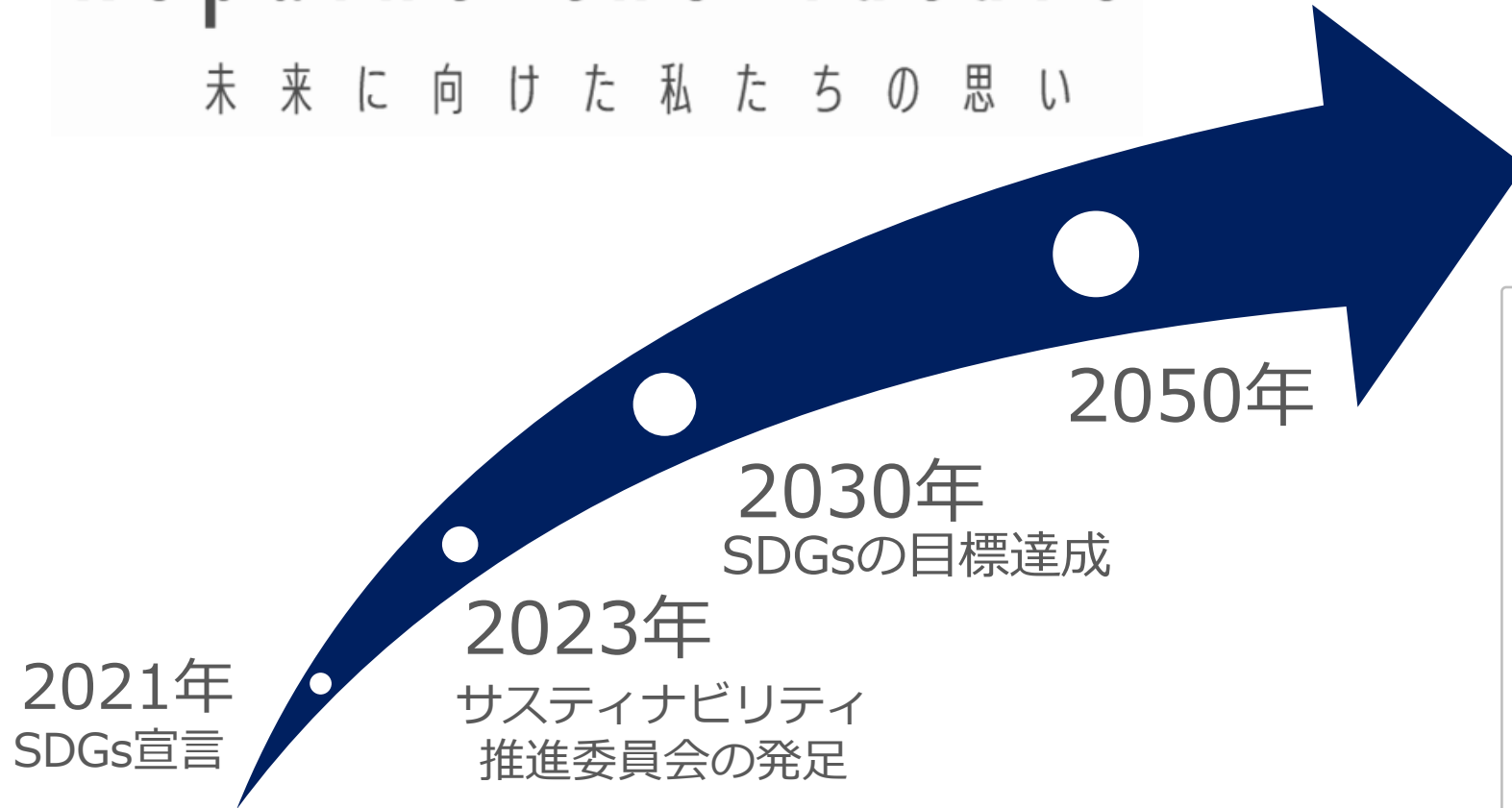
05 基本方針・品質方針・コンプライアンス宣言

サステナビリティへの取り組み

当社は、サステナビリティな経営を推進する上で、何もしなくてはくすんでしまう未来を、菊水化学の力で明るく塗り変えたいとの思いと、人を大切にしたい、自然を大切にしたい、人々の暮らしや街を大切にしたいという想いを込め2050年までのサステナビリティ方針を掲げました。

Repaint the future

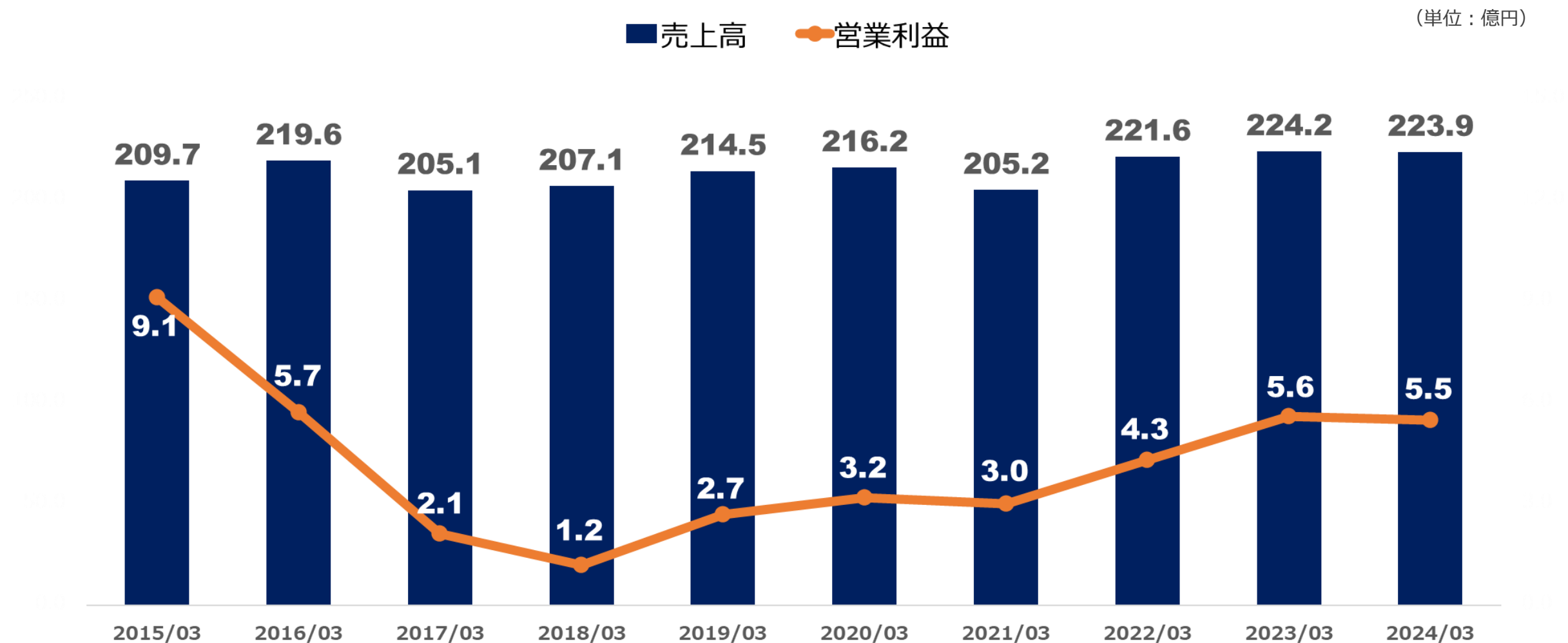
未来に向けた私たちの思い



2059年
創業**100**周年

2050年そして100周年である2059年に向けて、事業が成長し、存続していくためには、常に思考を働かせ革新的なアイデアを創造し続けることが重要であると考えています。また、地球温暖化をはじめ、様々な環境問題に対して、何ひとつ犠牲にすることなく、明るい未来へ続いていく環境共生社会の実現に貢献していきます。

年度別 連結業績の推移〔過去10年〕



目次

- 1. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 2. 2025年3月期 決算概要・・・・・・・・ P6**
- 3. 2026年3月期 業績予想・・・・・・・・ P11
- 4. 2026年3月期 事業活動・・・・・・・・ P15
- 5. 中期経営計画の振返り・・・・・・・・ P21

2025年3月期__業績ハイライト(連結)

- ✓ 2024年5月21日に、創業65周年を迎えました。
- ✓ 新基幹システムへの移行に伴う経費が増加しました。
- ✓ 消費マインドの低下で、住宅塗替え市場の低迷が続きました。
- ✓ 原材料高騰への対応として、適時、価格改定を実施しました。
- ✓ 中華民国(台湾)で、施工を伴う新事業の準備を開始しました。
- ✓ 1株当りの当期純利益13円17銭／1株当りの年間配当金17円

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額
	通期実績	通期実績	
売上高	22,392	21,390	-1,002
営業利益	554	264	-290
経常利益	635	341	-294
中間純利益	382	165	-217

売上高

21,390
百万円

〔 前期比
4.5%減 〕

営業利益

264
百万円

〔 前期比
52.2%減 〕

経常利益

341
百万円

〔 前期比
46.2%減 〕

当期純利益

165
百万円

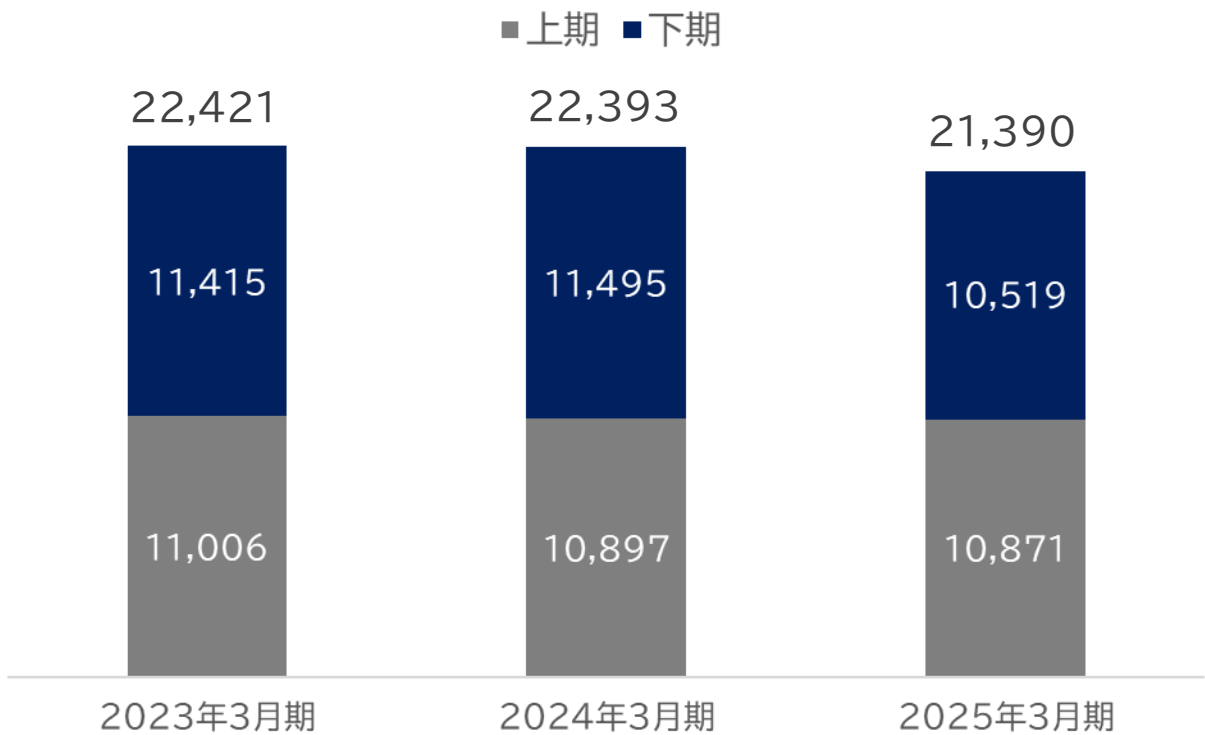
〔 前期比
55.9%減 〕

2025年3月期__売上高の分析(連結)

【業界動向】

- 経済産業省統計調査では、2024年4月～12月期間の塗料生産数量が前期比98.6%、塗料販売数量が97.7%となっており、微減傾向の推移となりました。但し、塗料平均単価が102.9%となり、原材料高騰への対応とした価格改定と、高付加価値製品の販売拡大が単価増に寄与していると推測されます。

<連結売上高の推移>



<売上構成>

- ✓ 改修市場を中心に、シリコン系、ふっ素系製品や、環境改善を目的とした遮熱塗料などを含む、高付加価値製品の販売が増加しました。

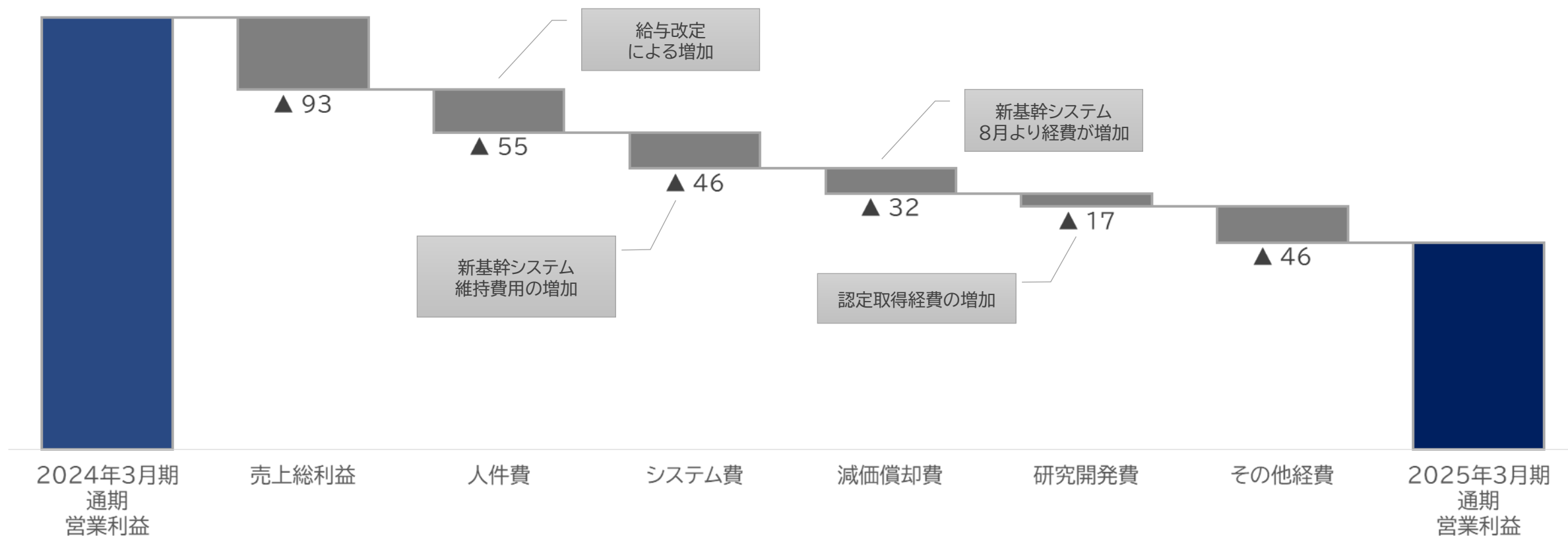
材質	売上比率	前期比
水系製品	64%	→
無機製品	18%	↑
溶剤製品	17%	↓

カテゴリー	売上比率	前期比
汎用製品	63%	↓
高付加価値品	37%	↑

2025年3月期__営業利益の分析(連結)

- ❑ 売上高の減少と、会計処理変更に伴い原価差異2億1400万円を売上原価に計上したことで、売上総利益が減少しました。
- ❑ 販管費では、給与改定による人件費、基幹システムの移行に関わる経費などが増加しました。
- ❑ 販管費の研究開発費では、新製品・新工法の規格認定取得として経費が増加しました。

(単位：百万円)



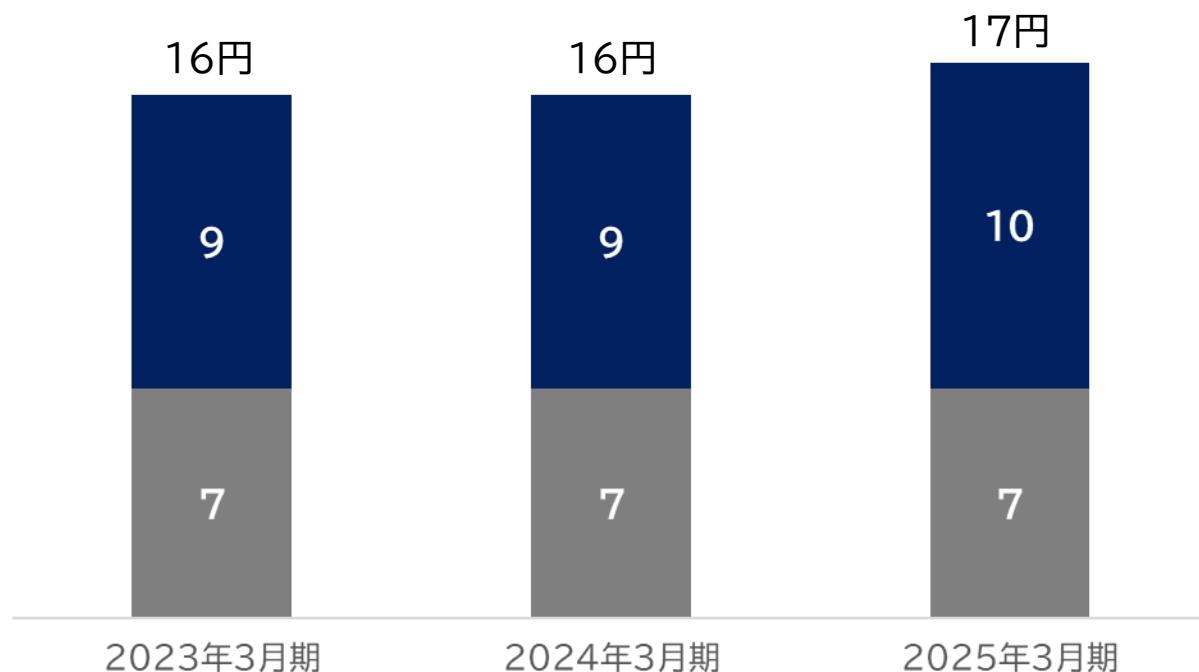
株主還元について

【剰余金の配当等の決定に関する方針】

- 当社の配当等の方針につきましては、利益還元を行うことが当社の責務とし重要な経営課題の一つとして認識しております。従いまして、安定的な配当を継続しつつ、業績動向を勘案して、増配など株主にとって有益となる還元方法を採用する方針であります。

<配当金の推移>

■ 中間配当額 ■ 期末配当額



- ✓ 当社は、2024年度に創業65周年を迎えることができました。それを記念して、1株当たり**1円**の**増配**を実施することといたしました。
- ✓ 2025年3月期は当初の業績予想を下回る厳しい結果となりましたが、当期末配当は、1株当たり**10円**(普通配当9円、記念配当1円)としました。

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
配当性向	81.38	53.37	129.04

※連結の経営指標になります。

目次

- 1. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 2. 2025年3月期 決算概要・・・・・・・・ P6
- 3. 2026年3月期 業績予想・・・・・・・・ P11**
- 4. 2026年3月期 事業活動・・・・・・・・ P15
- 5. 中期経営計画の振り返り・・・・・・・・ P21

2026年3月期__業績予想(連結)

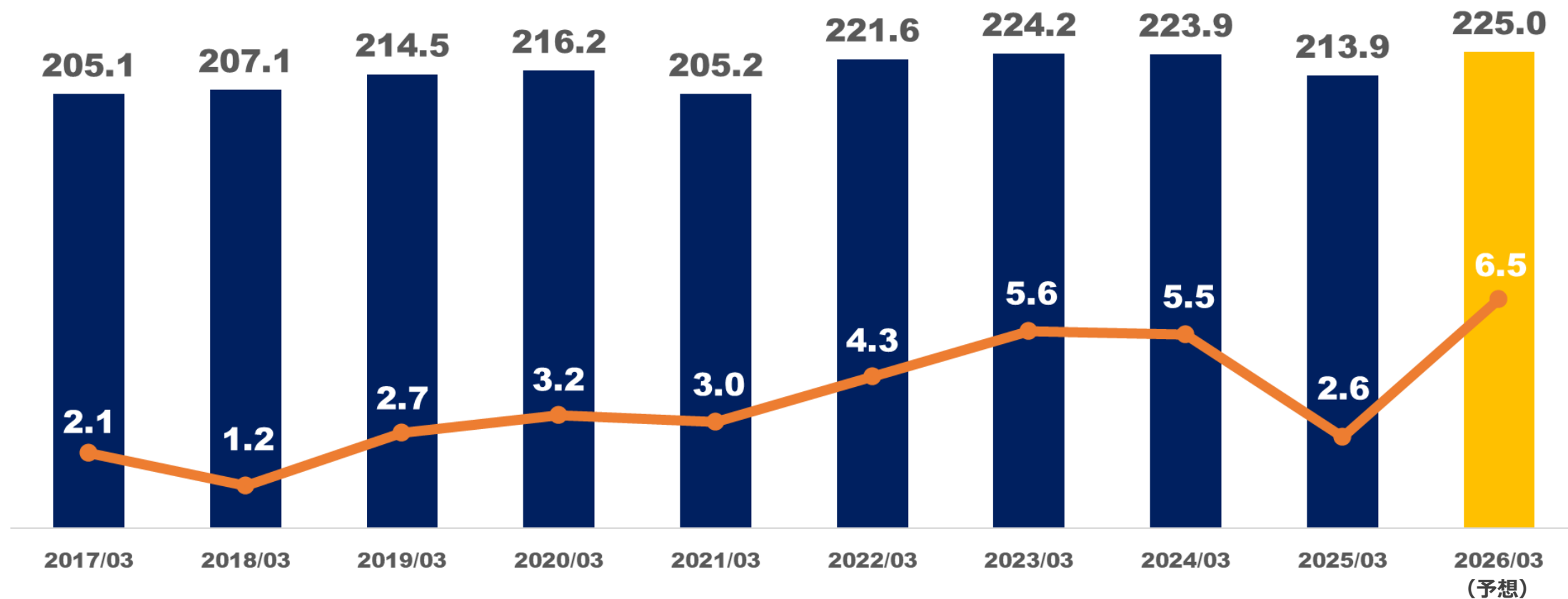
(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
	実績	予想		
売上高	21,391	22,500	1,109	+5.2%
営業利益	265	650	385	+145.4%
経常利益	341	691	349	+102.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	166	433	267	+161.1%

市場環境	原材料及びエネルギー価格の高騰、円安による物価高、人手不足の深刻化など、依然として先行き不透明な状況が続くと予測しています。	事業活動	営業部門	✓ 6つのソリューション（付加価値）の提案活動。 ✓ 責任施工による全国プラットフォームの構築。 ✓ 社会インフラ市場での基盤構築。
			管理部門	✓ 内部統制の強化。 ✓ DXによる生産性向上。 ✓ コンプライアンスの強化。

年度別 連結業績の推移〔直近10年〕

(単位：億円)

■売上高 ●営業利益



株主還元について

【剰余金の配当等の決定に関する方針】

- 当社の配当等の方針につきましては、利益還元を行うことが当社の責務とし重要な経営課題の一つとして認識しております。従いまして、安定的な配当を継続しつつ、業績動向を勘案して、増配など株主にとって有益となる還元方法を採用する方針であります。

	第2四半期末	期末	年間配当金合計
2026年3月期__予想	7 円00 銭 (普通配当7 円00 銭)	10 円00 銭 (普通配当10 円00 銭)	17 円00 銭 (普通配当17 円00 銭)
2025年3月期__実績	7 円00 銭 (普通配当7 円00 銭)	10 円00 銭 (普通配当9 円00 銭) (記念配当1 円00 銭)	17 円00 銭 (普通配当16 円00 銭) (記念配当1 円00 銭)

目次

- 1. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 2. 2025年3月期 決算概要・・・・・・・・ P6
- 3. 2026年3月期 業績予想・・・・・・・・ P11
- 4. 2026年3月期 事業活動・・・・・・・・ P15**
- 5. 中期経営計画の振返り・・・・・・・・ P21

建物の困りごととはキクスイにお任せください!!

～ 大切な資産を、適切な工法で維持・向上させます ～

1959
創業

1972

外装塗料SI
シリカリシン



当時のパッケージ



1990

建物を蘇らせるシート状装飾材
モダンアートストーン



2000

1液水系高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料
水系ファインコートシリコン



2009

ポリマーセメント系基礎巾木用塗料
基礎ガード



2023

CO₂削減・長寿命化に貢献する低炭素対応型塗料
BMBシリーズ



1981

結露防止塗料
ケツロナイン ロングセラー製品



1994

打放しコンクリート保護システム
SA工法



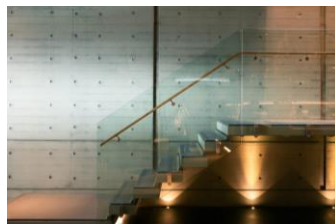
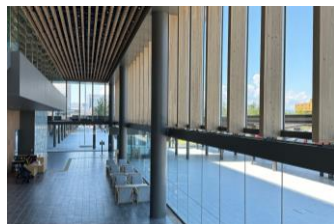
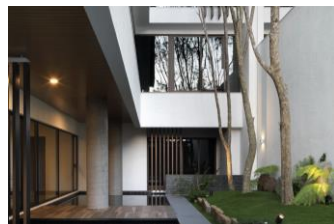
2004

カチオンポリマーセメント系下地調整塗料
カチコテSP



2023

CO₂削減に貢献する次世代の新しい素材
ジオアース



建物の困りごととはキクスイにお任せください!!

～ 大切な資産を、適切な工法で維持・向上させます ～



漏水対策

漏水は、原因追及が難しいとされていますが、住環境に与える影響も大きく対策は急務とされています。



環境対策

アスベスト（石綿）含有建材の取り扱いには、居住者、労働者、作業者の安全確保を優先に、適正な調査・分析結果のもと、専門知識と経験を持つ企業による作業が求められています。



省エネ対策

太陽光で熱せられた屋根・外壁は、室内温度を上昇させ、労働環境に悪影響を与える事があります。空調設備の効率化を図り、温室効果ガス排出を低減するための対策が必要です。



機能回復

コンクリート構造物は、経年劣化により、本来の機能が低下し維持保全が困難になる場合があります。定期的な診断、適切な処置による長寿命化対策が求められています。



剥落対策

外壁の磁器タイル剥落は、住民及び第三者に危害を加える可能性があります。また、修繕方法によっては、高級感のある意匠性が損なわれ、資産価値の低下に繋がる場合もあります。



美観回復

打放しコンクリートは、経年劣化とともに質感が損なわれていきます。従来の改修方法では、新築当時の質感を再現するのが難しく、単色塗装での塗り潰しを選択する場合があります。

6
Solutions

分類	売上比率
6つのソリューション製品	40%
一般製品	60%

建物の困りごととはキクスイにお任せください!!

～ 大切な資産を、適切な工法で維持・向上させます ～



工場・倉庫など、**働き方改革の一環**として、**労働環境改善**につながる「環境対策」「省エネ対策」「美観回復」など、様々な要因から修繕工事の相談が増加しています。

特に、「暑さ対策」へ有効な遮熱塗料は、「省エネ対策」にも貢献することから、法人向けに提案する機会が増えています。



壁が赤外線を吸収してしまうと室内の温度が上昇し、エアコン効率が低下してしまいます。



壁に遮熱塗料(高日射反射率塗料)を施工すると、赤外線をより多く反射します。そのため、室内温度があがりにくくなり、エアコン効率がアップし省エネに繋がります、

◆当社が推奨する遮熱塗料

✓ 省エネ対策

- ⇒水系ファインコートフッ素遮熱BMB
- ⇒水系ファインコートフッ素遮熱屋根用BMB
- ⇒サーモファクトリーダブルワン
- ⇒アドマクールペイント
- ⇒キクスイガイナ

◆環境改善に推奨する製品・工法

✓ 環境対策(アスベスト対策)

- ⇒アスシール工法／塗膜除去システム

✓ 結露対策

- ⇒ケツロナイン／ケツロナインシート

建物の困りごととはキクスイにお任せください!!

～ 大切な資産を、適切な工法で維持・向上させます ～



当社は、1959年5月名古屋市内に塗装工事会社を立ち上げました。その後、仕上材の製造・販売するメーカーに転身し、現在まで数多くの製品を世の中に提供してきました。

現在も、創業当初の思いを受け継ぎ、完成した塗膜の提供が社会的責任ととらえ、高い品質の完成塗膜を提供できるメーカー責任施工の事業を展開しています。

建材塗料事業

<非住宅>

公共施設・マンション・企業施設(工場／倉庫) など

<工種>

アスベスト対策・剥落対策・特殊美装・漏水対策 など

メーカー 責任施工

戸建住宅事業

<住宅>

戸建住宅・集合住宅(アパート) など

<工種>

仮設・外壁塗装・屋根塗装・シーリング打替え など

責任施工とは、自社製品を用いて、自社管理で施工までを手掛けることで、製品と施工に責任を持つ工事体制であり、製造メーカーの経験と実績とともに、建物に最適な改修仕様を提案します。



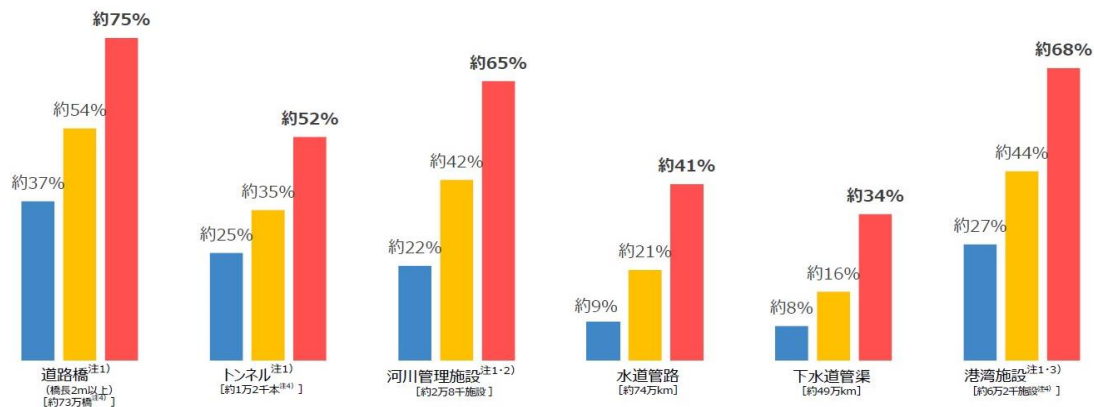
建物の困りごととはキクスイにお任せください!!

～ 大切な資産を、適切な工法で維持・向上させます ～

◆建設後50年以上経過する社会資本の割合が増加

高度経済成長期以降に整備された道路橋、トンネル、河川、上下水道、港湾等について、建設後50年以上経過する施設の割合が加速度的に高くなる予測です。

※国土交通省_社会資本の老朽化対策情報ポータルサイト「社会資本の現状と将来予測」より



2040年3月

道路橋／トンネル／河川管理施設／港湾施設

築50年以上の施設総数（総延長）が、約50%を占めます。

◆当社が推奨する製品・工法

床版 断面修復工事

超低収縮・不燃認定
断面修復材
「スタック ウルトラモルタル・LS」

断面修復用ポリマーセメント
モルタル
「ソルトストップ断面修復材SP」等

橋桁/床版 剥落抑止材

「キクスイ連続繊維シート
剥落防止対策工法」

橋桁/床版 強度回復・クラック対策

内圧充填接合補強
「IPH工法」

鉄橋 塗膜除去対策

鋼構造物用水系塗膜剥離剤
「キクスイ アクアリムーバーエコ」

橋桁/床版 塩害対策断面修復工事

「塩分吸着剤」配合防錆工法
「BR-SS工法」

橋桁/床版 断面修復工事

乾式吹付断面修復工法
「乾式吹付けシステム」

New

※2025年6月頃より順次発売

目次

- 1. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 2. 2025年3月期 決算概要・・・・・・・・ P6
- 3. 2026年3月期 業績予想・・・・・・・・ P11
- 4. 2026年3月期 事業活動・・・・・・・・ P15
- 5. 中期経営計画の振返り・・・・・・・・ P21**

中期経営計画の振り返り

- ✓ 2022年 4月__完全子会社の日本スタッコを吸収合併し、資源の集約、製造基盤強化、製品競争力の向上をはかりました。
- ✓ 2023年 3月__2019年3月期に、一部不適切な会計処理が行われていたことが判明しました。
- ✓ 2023年10月__不適切な会計処理に対する調査分析、再発防止策の立案のため、調査委員会を設置しました。
- ✓ 2024年 3月__連結子会社である菊水化工（上海）有限公司の清算を終了しました。
- ✓ 2024年 8月__新基幹システムへの移行において、データ連携の障害が発生し管理・営業の業務が一部遅延しました。
- ✓ 2024年 9月__中華民国（台湾）に、リノ・ハピア（日本）と合併会社を設立することに合意しました。

連結 ※()内の数値は、2022年5月の開示目標です。	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	224.2億円 (225億円)	223.9億円 (240億円)	213.9億円 (250億円)
営業利益	5.6億円 (4.8億円)	5.5億円 (6.3億円)	2.6億円 (7.8億円)
経常利益	6.5億円 (5.1億円)	6.3億円 (6.6億円)	3.4億円 (8.1億円)
親会社株主に帰属する当期純利益	2.4億円 (2.5億円)	3.7億円 (4.7億円)	1.6億円 (5.7億円)

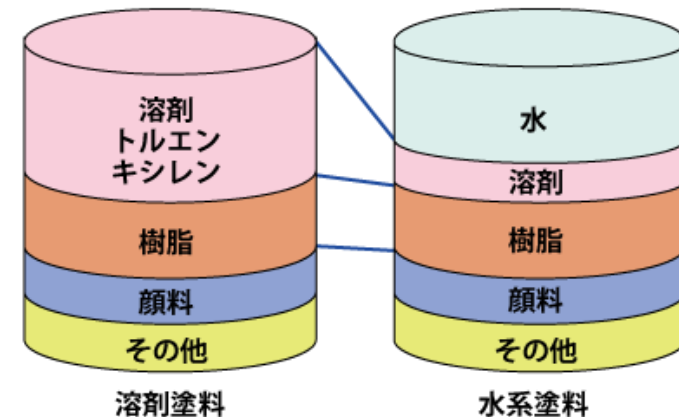
中期経営計画振返り__社会課題への取り組み①

<無機・水系製品の普及>

近年では、環境配慮のニーズから水系塗料への置換が進んでいます。当社は、経営理念とともに、創業から変わらない精神で、**環境負荷の少ない無機・水系製品にこだわり開発・製造・販売**をしてきました。

発売月	製品	概要
2023年6月	ジオアースシリーズ	セメント製造で排出されるCO2削減に貢献できる製品です。
2023年6月	BMBシリーズ	従来の塗料と比較して1缶当たり約10kg＝約50%のCO2が削減できる製品です。

【原材料の構成比】



<健康経営>

菊水化学工業株式会社は、経済産業省の健康経営優良法人認定制度により、優良な健康経営を実践している大規模法人として、2024年に続き**2年連続**で「健康経営優良法人2025」に認定されました。



<CO₂排出量削減>

当社は、2021年を基準年として、Scope 1, 2 を**2030年で27%削減（年率3%）を目標**としています。

	2021年度 (基準)	2022年度	2023年度
排出量	2,280	2,209	1,673
基準対比削減率	—	▲3.2%	▲36.3%



中期経営計画振返り__社会課題への取り組み②

<女性活躍推進>

「働き方の改革」の一環として、「女性従業員の働く環境」「女性管理職の登用」など、女性従業員の現状と今後について討議・意見交換する**女性交流会を開催**しています。今まで、部署交流の少なかった女性従業員同士が顔を合わせて情報を共有することで、業務の円滑化、作業効率のアップ、孤立の防止を目的としています。



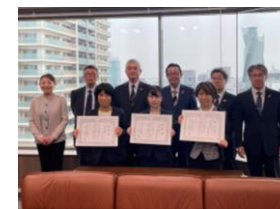
<キャリア教育支援>

2022年2月より、**中学校17校、高校1校の受入れを実施**しました。また、名古屋市立某中学校とは、地元商店街への地域貢献活動として、企画から実施までの定期的ミーティングを現在も実施中です。



<社員提案制度>

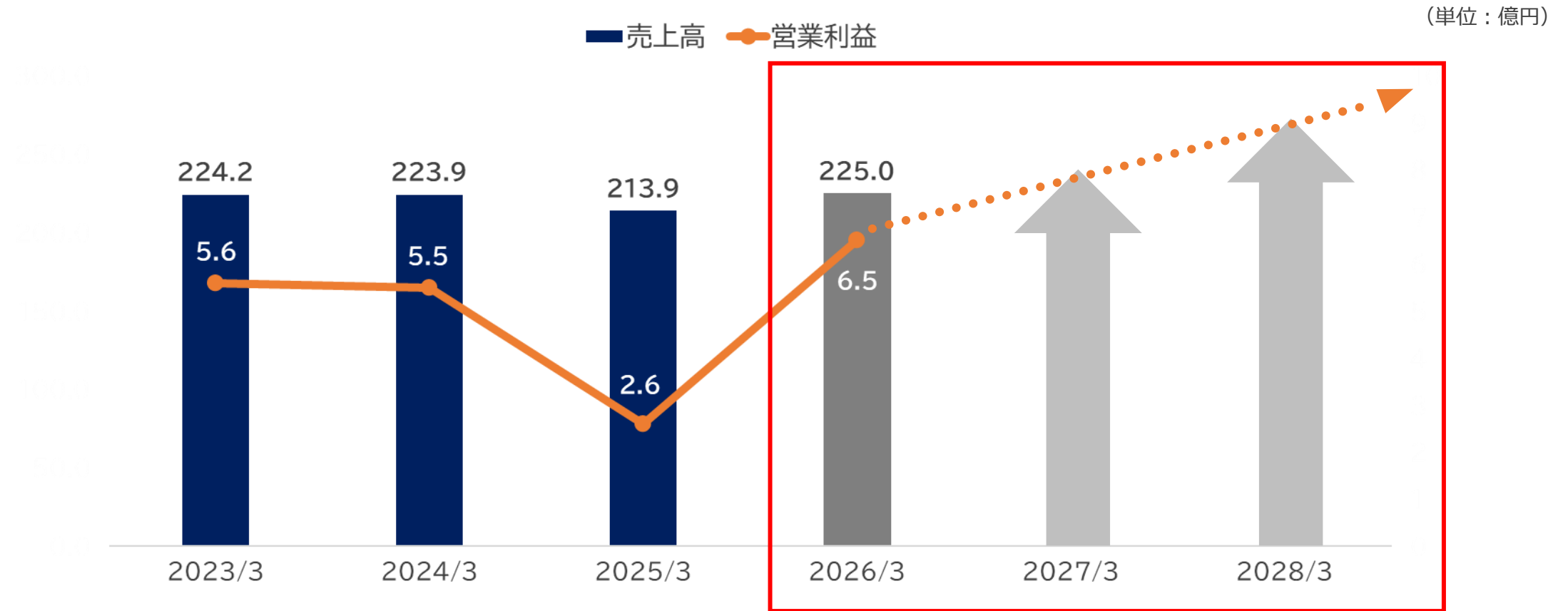
全従業員から、業務の中で感じる「これはムダだ」「新しくしたい」「もっとこうすれば良くなる」などの提案（ティーワン★）を募集しています。1つの気づきが、会社の未来を大きく変える。



	2022年度	2023年度
労働者に占める女性労働者の割合	(正社員) 20.2%	(正社員) 24.1%
係長級にある者に占める女性労働者の割合	11.8%	17.3%
管理職に占める女性労働者の割合	3.1%	2.7%
役員に占める女性の割合	30%	20%

新中期経営計画について

現在、2026年3月期から2028年3月期までの新中期経営計画を策定中です。
取り纏めが完了次第、適時、情報を開示いたします。



本資料に記載されている将来の目標、予測、戦略に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は、今後の様々な要因により、これらの業績予測とは大きく異なる可能性がある事をご承知おき下さい。

本資料及び当社のIRに関するお問い合わせ先
菊水化学工業株式会社 管理本部
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄一丁目3-3
[TEL:052-300-2222](tel:052-300-2222)(代)

kikusui